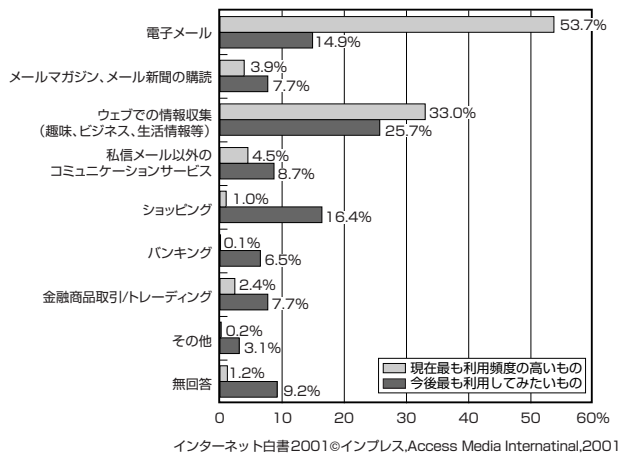


## 第3章 パソコン利用者

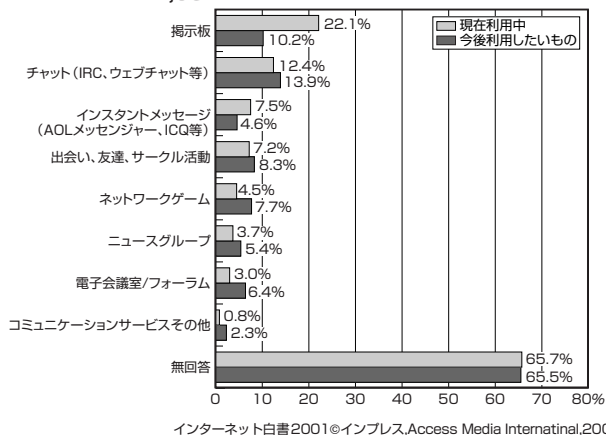
## 利用内容

## 利用サービスは多様化の傾向

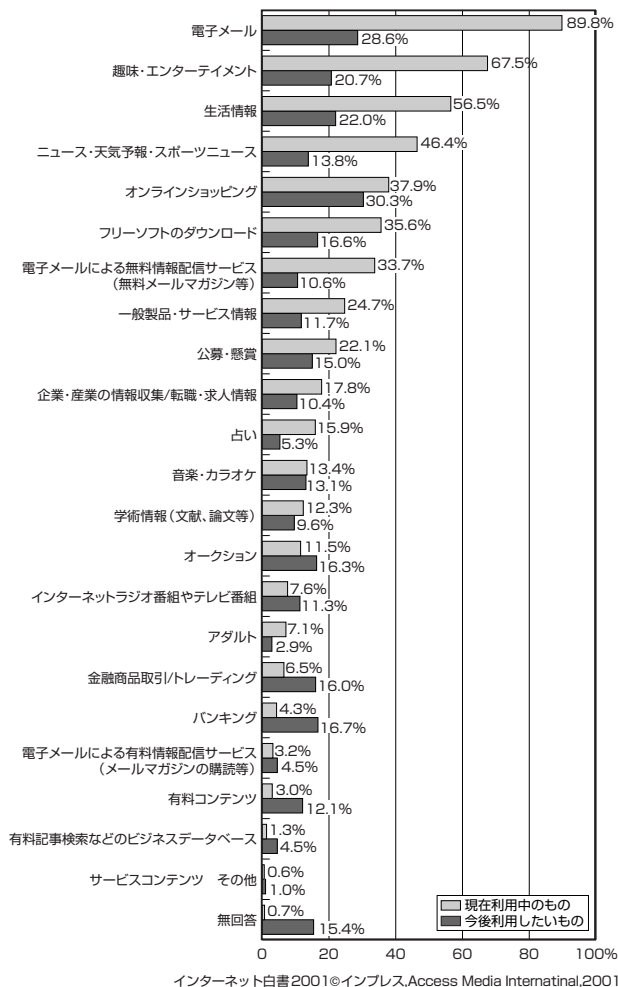
資料 1-3-8 インターネットの利用内容 (現在/今後) N=1,684



資料 1-3-9 利用コミュニケーションサービス内容 (現在/今後) N=1,684



資料 1-3-10 利用サービスコンテンツ内容 (現在/今後) N=1,684



## 解説

## ■ 利用内容

利用内容は大分類と小分類の2段階に分けて聞いている。全体の傾向は変わらないものの、3位以下の「メールマガジン、メール新聞の購読」や「ショッピング」「バンキング」「金融商品取引/トレーディング」の比率が伸びており、利用内容の多様化が徐々に進んでいる。現在の利用では1.0%であった「ショッピング」は今後最も利用したいが16.4%。「金融商品/トレーディング」や「私信メール以外のコミュニケーションサービス」も今後の利用意向が高くなっており、さらに用途を

広げたい意向がうかがえる。性別では女性には「電子メール」「私信メール以外のコミュニケーションサービス」「メールマガジン、メール新聞の購読」が相対的に高く、男性は「ウェブでの情報収集」「金融商品取引/トレーディング」が高い。20代で「ウェブでの情報収集」「私信メール以外のコミュニケーションサービス」が、60代以上で「電子メール」「金融商品取引/トレーディング」が高い。

利用内容の小分類として、まず(私信メール以外の)コミュニケーション系サービスについてみる。現在利用中は

「掲示板」(22.1%)や「チャット」(12.4%)が高く、今後の利用意向も同様に高い。「インスタントメッセージ」の利用は昨年(7.7%)とほぼ同様の7.5%である。また、今回初めて選択肢として追加した「出会い、友達、サークル活動」は現在の利用が7.2%と4位であった。今後の利用意向が現状の利用を上回っているのは「チャット」「出会い、友達、サークル活動」「ネットワークゲーム」「ニュースグループ」「電子会議/フォーラム」であった。コミュニケーションサービス全般に関しては、昨年同様、特に若年層で利用意向が高い。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)